

京都府立須知高等学校

京都府農牧学校

創立150年記念講演会



京都府立須知高等学校が伝統を引き継ぐ京都府農牧学校は、明治9年に創設され、その後、時代とともに船井郡立実業学校、京都府立須知農学校、京都府立須知農林学校(女子部併設)と校名を変えながら、昭和23年11月1日新制高校として開校し、今年で農牧学校創設から150年を迎えることとなりました。

演題

「スマート社会の実現に向けた新しいレーザー技術： フォトリソグラフィ結晶レーザー(PCSEL)」



自動運転、宇宙通信、スマート製造——あらゆる分野の鍵を握る次世代光源「フォトリソグラフィ結晶レーザー(PCSEL)」。

1999年にその基本概念を提唱した野田進氏が、既存レーザーの限界を突破する革新技术と、社会実装に向けた最前線の取り組みを語ります。

母校須知高校を巣立ち、世界的な研究者として第一線を走り続ける野田氏。

150年の歴史を刻む本校から、次の150年を担う生徒たちへ贈る記念すべき特別講演です。

講師

野田 進 氏

本校第30期卒業生【昭和53年卒業生】
京都大学高等研究院 副院長／特別教授
(京都大学博士／ゲント大学名誉博士)

期日：令和8年10月31日(土)

時間：10:40～12:15(開場:10:30)

会場：京都府立須知高等学校 第一体育館(京丹波町豊田下川原166-1)

定員：100名

参加費：無料

左記の二次元コードもしくは裏面に記載の方法でお申し込みください。
お申込みに関するお問い合わせは本校までご連絡ください。



講師の略歴と業績

1978年須知高校卒業、その後、1982年、1984年、1991年にそれぞれ京都大学にて電気工学の学士号、修士号、ならびに博士号を取得。2006年にはベルギーのアントワープ大学より名誉博士号を授与される。

1984年から1988年まで三菱電機株式会社中央研究所に勤務した後、1988年に京都大学へ戻り、2000年に教授に就任。現在は京都大学高等研究院(KUIAS)の特別教授を務めるとともに、一般社団法人「京都大学PCSEL(フォトニック結晶レーザー)研究所」の代表理事を兼任。研究分野は、フォトニック結晶に基づく光ナノ構造の物理とその応用。

これまでの業績に対し、日本IBM科学賞(2000年)、応用物理学会量子エレクトロニクス業績賞(2005年)、米国光学会(Optica)ジョセフ・フ라운ホーファー賞／ロバート・M・バーリー賞(2006年)、文部科学大臣表彰 科学技術賞(2009年)、IEEEナノテクノロジー・パイオニア賞(2009年)、江崎玲於奈賞(2009年)、紫綬褒章(2014年)、応用物理学会業績賞(2015年)、日本学士院賞(2022年)、ランク賞(2026年)など、数々の権威ある賞を受賞。また、IEEE(米国電気電子学会)、応用物理学会、レーザー学会のフェローにも選出。

その他、詳細な業績はこちら：<https://kuias.kyoto-u.ac.jp/e/profile/noda/>

講演要旨(講師より一言)

21世紀は、まさに「光」の時代です。自動運転の目となるセンサー、工場の自動化、宇宙開発、AI、そして未来の超高速コンピュータ(量子技術)まで、あらゆる最先端テクノロジーを支えているのが光技術です。

私の研究室では、この21世紀を支える光を「自由自在に操る」ことを目指し、ナノサイズの人工構造である「フォトニック結晶」の研究開発を進めてきました。

本講演では、そのうち、特に、私たちが1999年に発明した新しいレーザー技術「フォトニック結晶レーザー(PCSEL)」について、分かりやすくご紹介します。この技術がなぜ自動運転や宇宙通信の未来を握っているのかを解説するとともに、私が日頃どのような「座右の銘」を胸に研究に挑んでいるかについてもお話しします。

申込方法

9月1日(火)～9月30日(水)の期間にいずれかの方法で申し込んでください。

- (1)2次元コードから申込サイトへアクセスし申し込む
- (2)電話での申し込み(0771-82-1171)*平日8:30～17:00

来校時のお願い

- (1)校舎内は上履きが必要です。各自で持参ください。
- (2)自転車・自家用車での来校が可能です。
- (3)9:00～10:30は開校記念式典を実施しています。そのため、10:30までは会場へお入りいただくことはできませんのでご注意ください。

お問い合わせ

京都府立須知高等学校内

京都府農牧学校創立150年記念事業事務局 担当 副校長 TEL 0771-82-1171

京都府農牧学校創立150年記念式典
記念講演会参加申し込み

